

前職での経験や人脈を活かして

地域の畜産業者や関連機関との連携強化に取り組む

健康福祉部保健所

食肉・衛生検査所

獣医師 A

2年目（令和6年現在）

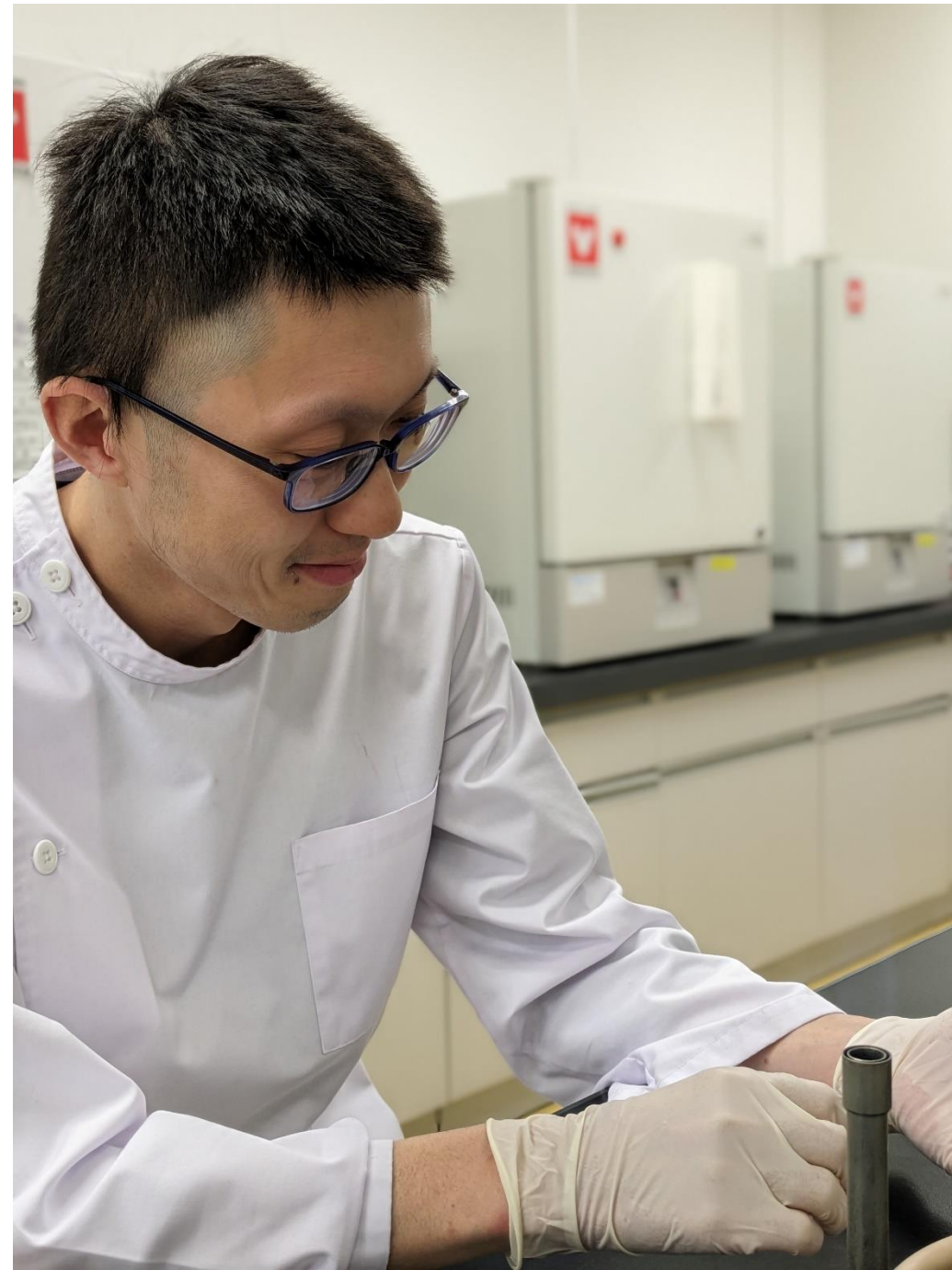


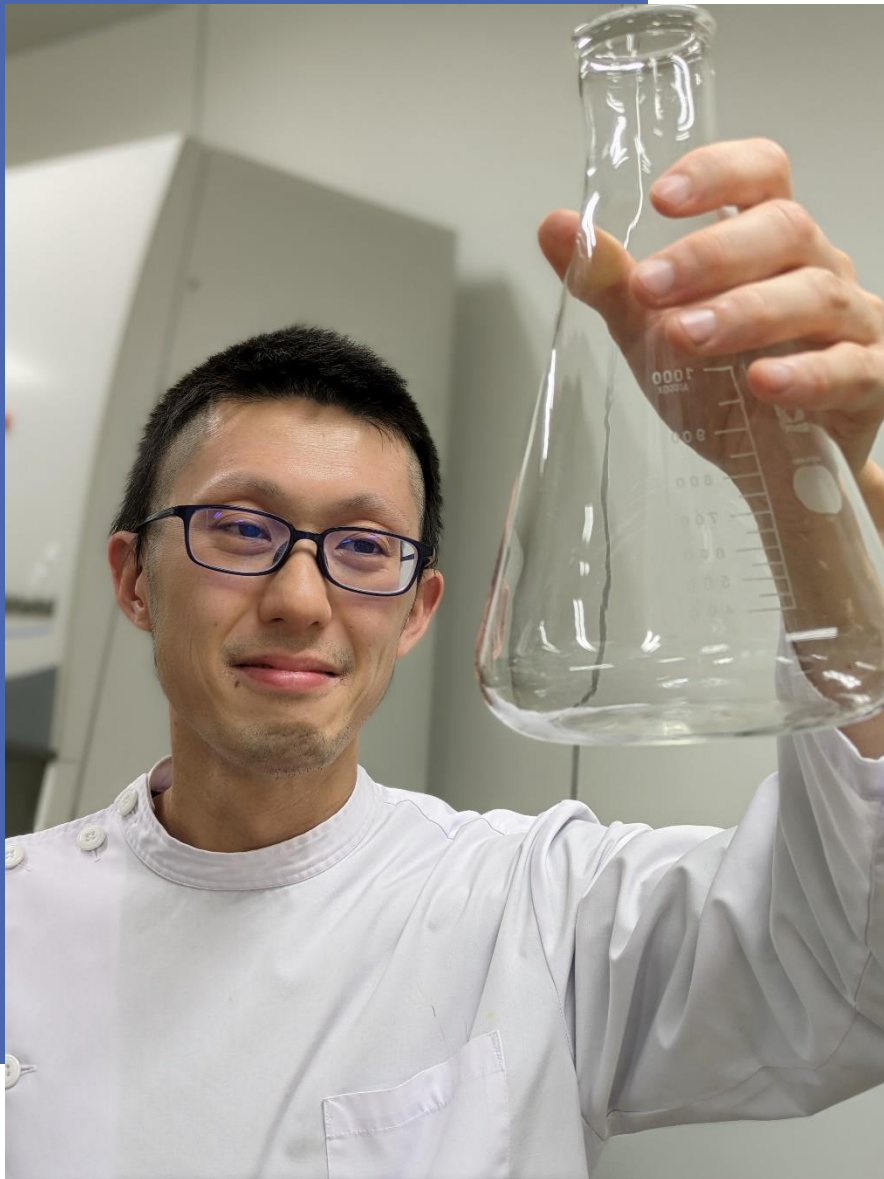
Q.現在の業務内容

主な業務はと畜検査業務の中でも施設の拭取り検査や微生物検査に関することです。

Q.仕事の面白い点

学生時代に公衆衛生学教室に在籍していたため、再び微生物に関わることができやりがいを感じています。特に面白いと感じるのは、実際に稼働している施設の調査を実施し、それをフィードバック、改善につなげられるのは研究機関ではできないことだと思います。



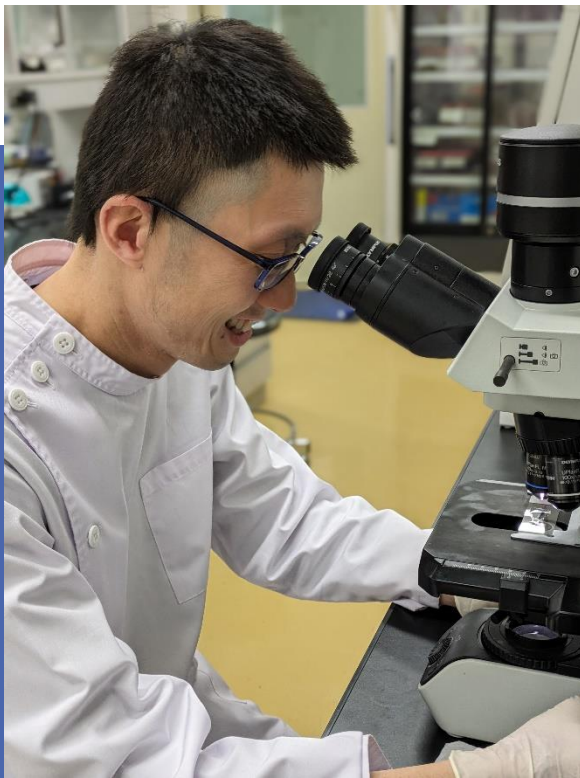


Q. 四日市市を選んだ理由

以前は三重県の大動物の診療所で勤務していましたが、家族を持ったことでライフスタイルが変化し、夜間の緊急診療や休日出勤が難しくなりました。そのため、より働きやすく福利厚生が充実した四日市市に転職しました。

Q. 今後の目標

まだ2年目ですがいくつかの業務を任せてもらっており、できる業務を増やしていきたいです。また、地域の畜産業者や関連機関との連携強化や情報共有にも力を入れていきたいです。



Q.四日市市に向いている人とは

食品安全に対する意識やバランス感覚、コミュニケーション能力が求められます。また、法令や規制、問題解決能力やチームでの協力ができる人が向いています。そして、食品衛生やHACCPに関心を持ち、その分野での専門知識や経験を活かしたいと考えている人にとっても適した環境です。

Q. 求職者へのメッセージ

食品の安全性と健康は、私たちの生活に直結する重要なテーマです。四日市市のと畜場での仕事は、その一端を担う貴重な機会です。食品安全に貢献し、地域社会に貢献する仕事に興味をお持ちの方は、ぜひ私たちと一緒に働いてみてください。



たくさんのメンバーと協力、連携し

人と動物が共生する社会の実現を目指す

健康福祉部保健所

衛生指導課 生活衛生係

獣医師 B

3年目（令和6年現在）

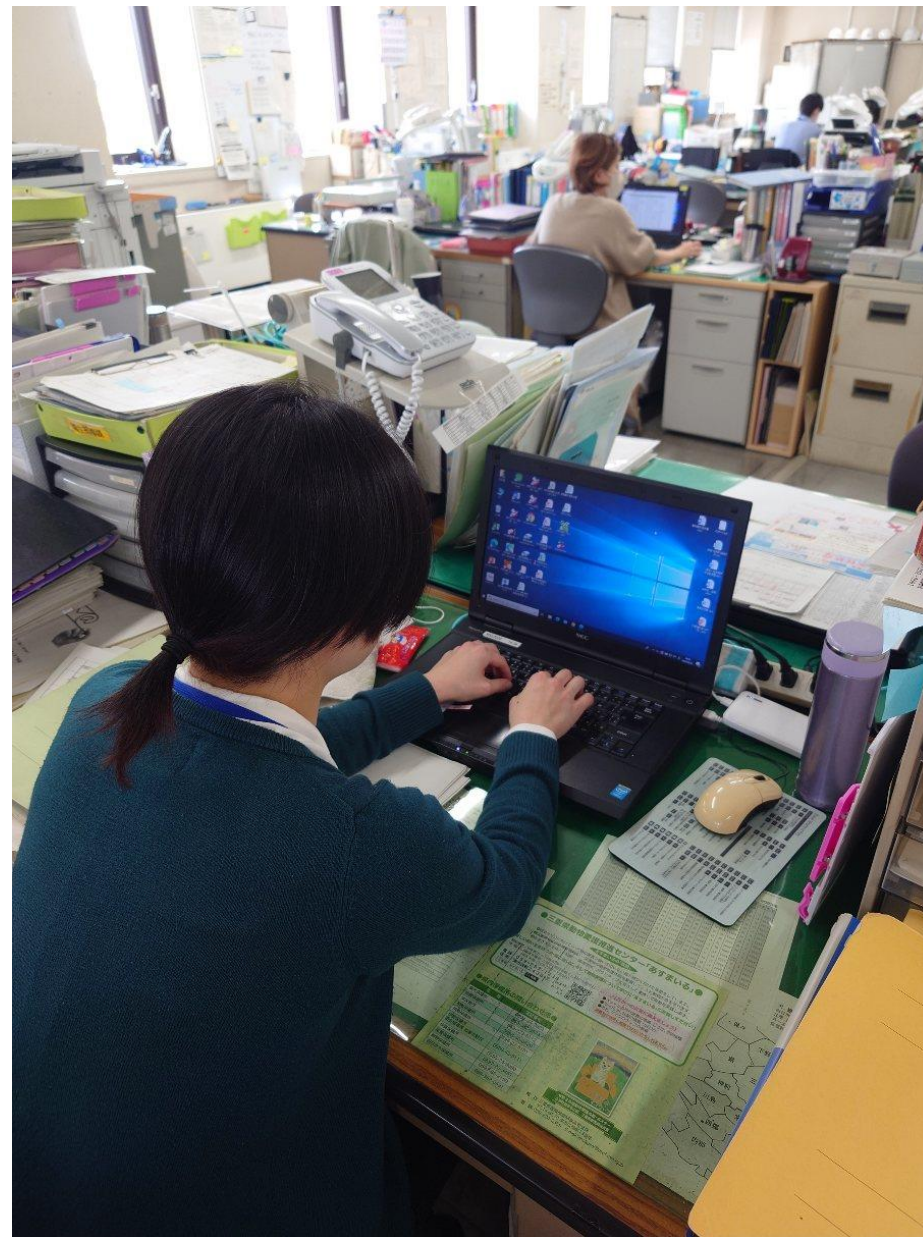


Q.現在の業務内容

人と動物が共生する社会の実現を目指し、相談に基づく飼い主への飼い方の助言や動物取扱業者への指導を行っています。

Q.仕事の面白い点

飼い主などの意識向上のため、幼稚園から小学生を対象に犬の接し方教室・愛護教室を行っています。子供たちが昨年行った教室の内容を覚えており、家族に話したことなど聞くとうれしく思います。



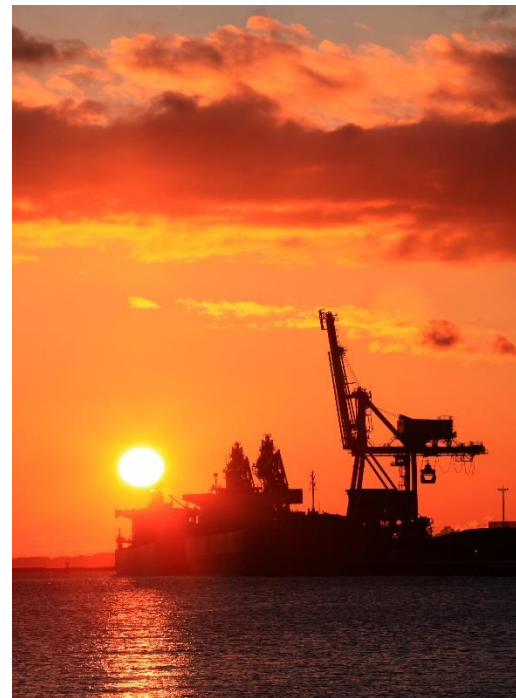


Q.四日市市を選んだ理由

異動場所も近いため、引っ越しが必要ないことです。名古屋や京都など都市へのアクセスも良いことが魅力です。

Q. 今後の目標

生活衛生係に配属されているなかで、動物愛護だけでなく生活衛生営業施設についても許可や監視指導を行っています。生活衛生営業6法と呼ばれる法律の下行われ、覚える法律の数が多いのでこれからも勉強を頑張っていきたいです。



Q.四日市市に向いている人とは

多くのメンバーと協力して業務に取り組むため、コミュニケーション力は必要と考えます。同じ課だけでなく他の課とも連携をとることがあります。



Q. 求職者へのメッセージ

一見、獣医師と関係ないような仕事（生活衛生営業施設監視など）でも、獣医師だからこそ与えられた資格でできることです。様々な仕事を経験できることは公務員の良さだと思います。

大好きな四日市で家族や市民のため

大切な仲間とともに公務員獣医師として働く

健康福祉部保健所

食肉・衛生検査所

獣医師 C

14年目（令和6年現在）



Q.現在の業務内容

と畜場のHACCPを良くするための検証業務を行っています。また、獣医師の募集・勧誘活動、見学者の対応なども行っています。食肉の安全とその先に繋がる市民の健康を守る役割を担っており、やりがいと責任感を持ちながら日々業務をしています。

Q.仕事の面白い点

自身の衛生知識に基づいてと畜場の作業員を指導したり、法律の解釈を考えながら業務ができるのは公務員獣医師ならではの面白さだと思います。獣医師としての専門技術を活かして市民の食の安全を守るとは、誇らしさを感じるとともに、より安全で衛生的な食肉を流通させたいというエネルギーにもなっています。





Q.四日市市を選んだ理由

市内での勤務なので異動が少ないことや、30代の若手職員が多いという点に惹かれました。名古屋などの大都市圏から近く、三重県下では最大の人口を誇る都市でありながらも、保健所設置市として独自で意思決定を行える、そういったバランスの良い四日市市で自分も活躍したいと思いました。

Q. 今後の目標

SNSの普及による情報共有の高速化、食品衛生法の改正によるHACCP義務化などの影響により、食の安全や衛生管理が重要な関心事となっています。知識をもっと吸収し、自分のため、ひいては家族や市民のためにより安全で衛生的な食肉を流通させることに尽力したいですね。

Q.四日市市に向いている人とは

年齢や性別にかかわらず協調して業務に取り組んでいける方が向いていると思います。四日市市は上司や職員間の距離が近い
ため、色々なメンバーと協力しながら業務を進める場面も多く
ありますので、その気持ちはいつも大切にしています。



Q. 求職者へのメッセージ

職種選びや自治体選びに悩まれているのであれば、一度四日市市という自治体を見学してみてください。私が四日市市の魅力や雰囲気、働いているメンバー、仕事内容、福利厚生など自信をもってお伝えします。私自身、まだまだ不慣れなことは多くありますが、やりがいと成長を実感しながら働くことができおり充実した毎日を送っています。

身につけた幅広い知識を使い

自分の意見を発信し、職員一丸となって取り組む

健康福祉部保健所

衛生指導課 食品・薬事係

獣医師 D

5年目（令和6年現在）



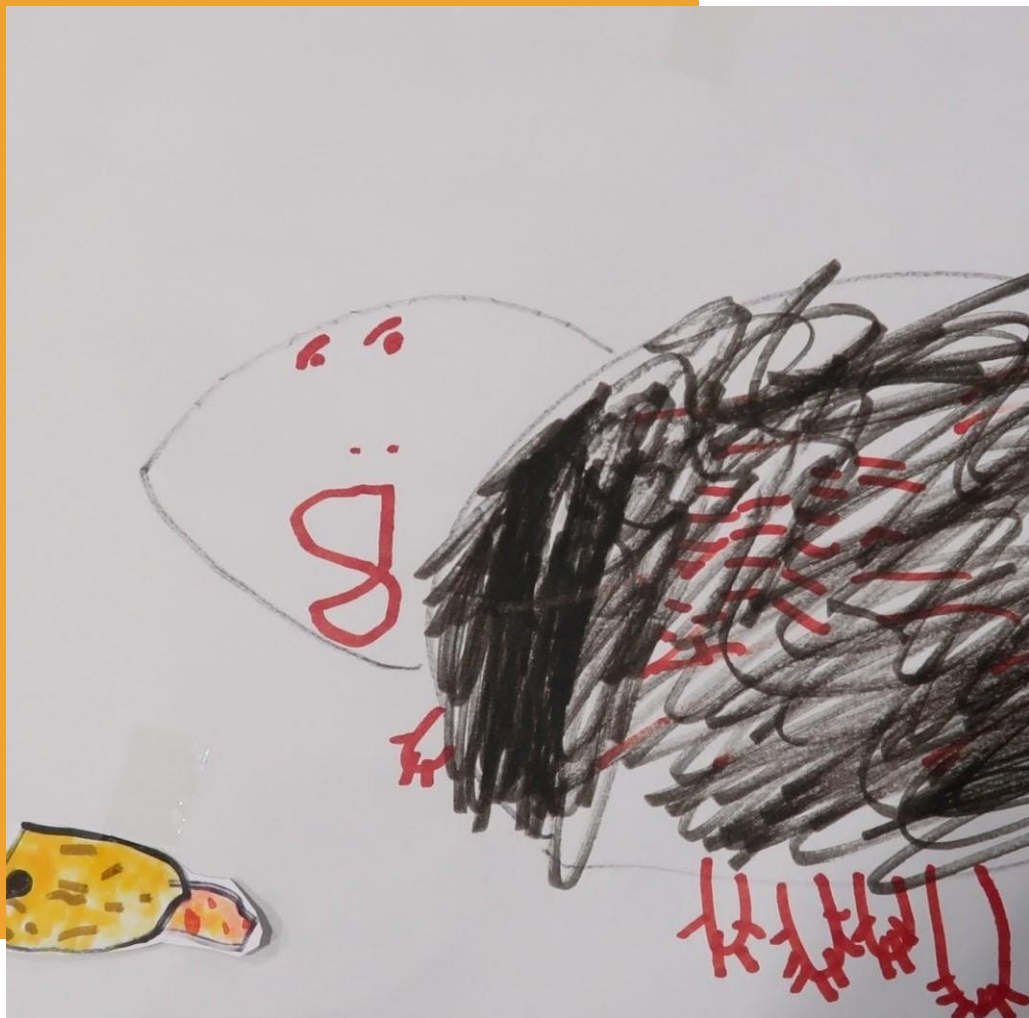
Q.現在の業務内容

食品関連であれば、レストラン等の許認可、食品の収去検査、市民への出前講座(食中毒啓発等)、食品衛生月間での啓発活動、食品事業者への講習、食中毒等の調査、大量調理施設の監視、監視票の作成等を業務としており、薬事関連であれば薬局等の許認可、植えてはいけない「けし」の除去、市民への出前講座(薬の正しい使い方等)、薬物乱用防止活動、毒劇物販売業施設の監視、献血事業等を実施しています。

Q.仕事の面白い点

幅広い知識を必要とされるため、知識の収集や更新は大変ではありますが、身についた知識を使って業務に携わることはやりがいを感じます。また、普段の生活にも利用できる知識や情報(食品表示や食中毒予防の方法等)も多く日々の生活に役立っています。



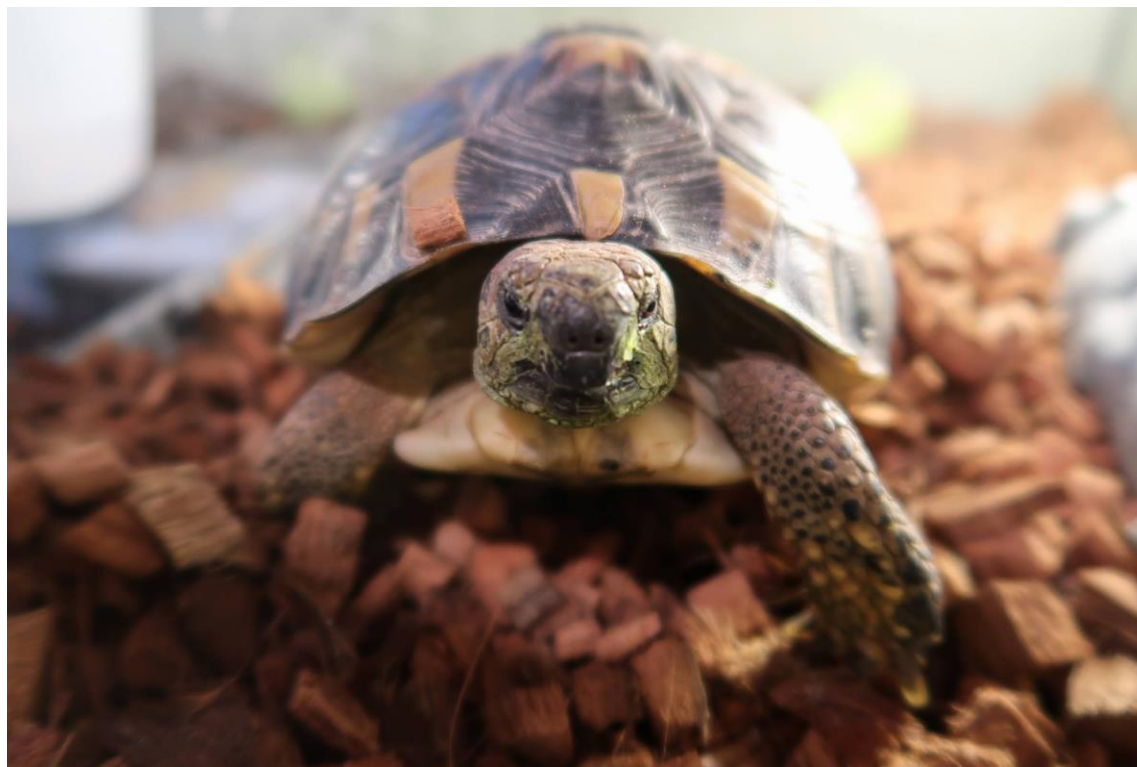


Q.四日市市を選んだ理由

以前は全国転勤の動物病院に勤めていました。しかし、結婚・出産を機にライフプランを組み直すにあたって定住先をと考えたときに、配属先が市内に限られること、電車での通勤が可能であることが私にとって大きなメリットであり、四日市市を選択した一番の理由となりました。

Q. 今後の目標

この10年間で食文化・食生活の変化に伴って食中毒の原因も変化が生じている中で、向こう20～30年の変動についていくために日々情報を改めていかなければならないと感じています。

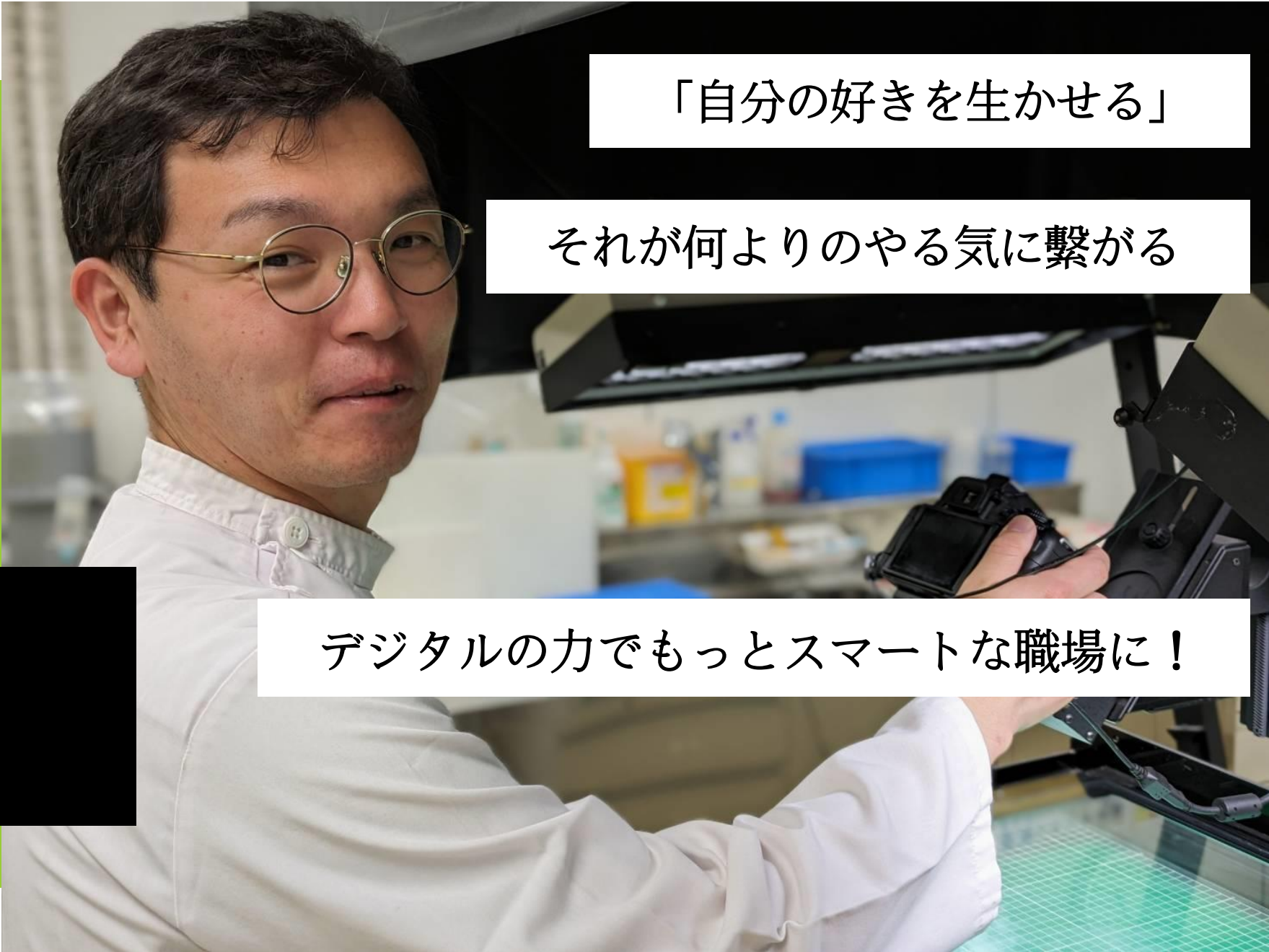


Q.四日市市に向いている人とは

食中毒の調査等になってくると、一丸となって取り組み、その中で意見を求められる場面も出てくるため協調性のあることや自身の意見をもつことが大切だと感じます。

Q. 求職者へのメッセージ

新卒者、既卒者、県外出身者問わず少しでも興味があれば見学にお越しください。実際の業務を見ていただければ、やりがいや楽しさを知ってもらえると思います。

A man with dark hair and round glasses, wearing a white lab coat, is looking towards the camera while holding a black DSLR camera. He is in a laboratory setting with various equipment and supplies visible in the background.

「自分の好きを生かせる」

それが何よりのやる気に繋がる

デジタルの力でもっとスマートな職場に！

健康福祉部保健所

食肉・衛生検査所

獣医師 E

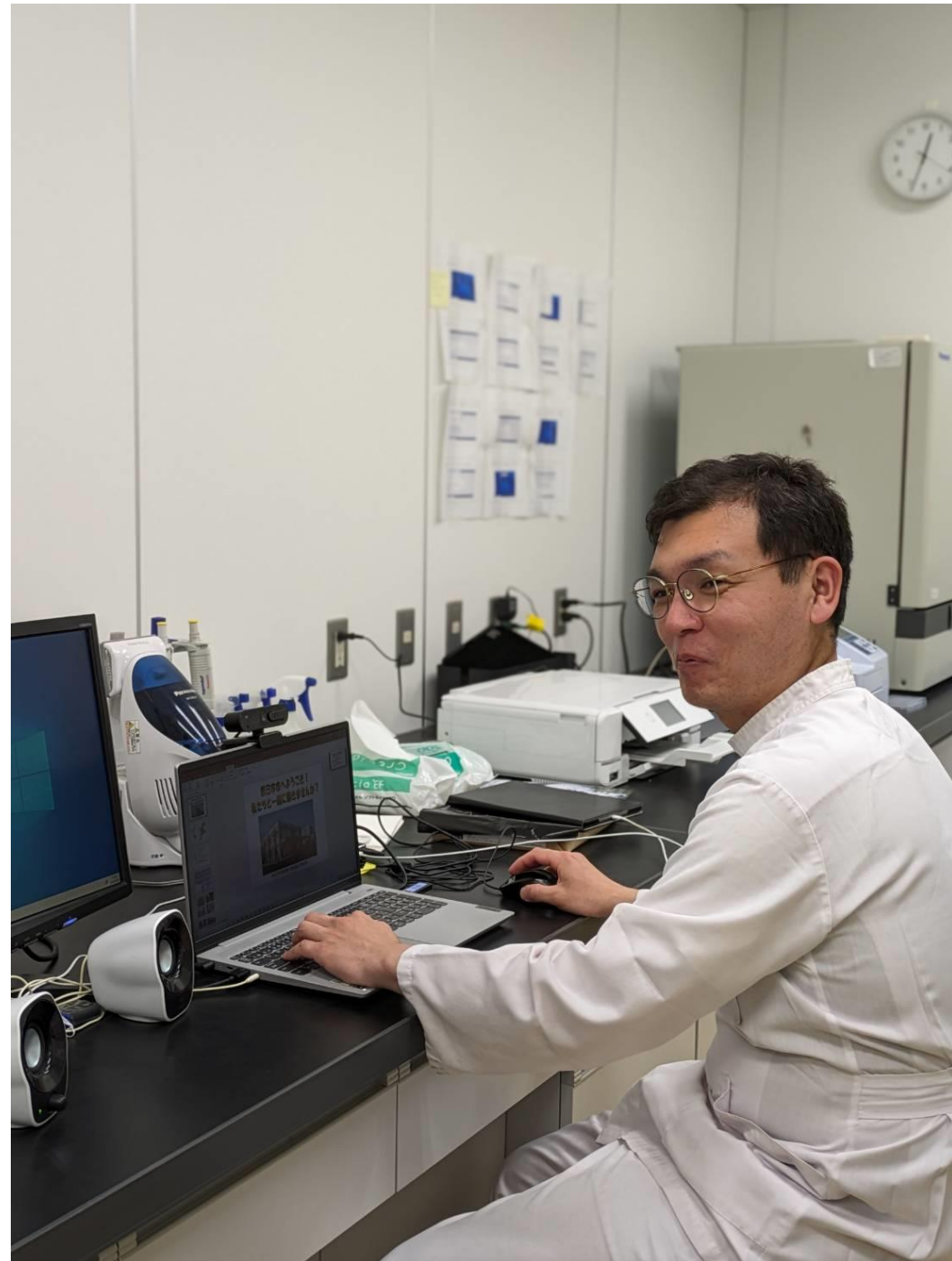
11年目（令和6年現在）

Q.現在の業務内容

主な業務は、と畜場HACCPや獣医師勧誘業務、所内ICT関連業務です。

Q.仕事の面白い点

私自身はパソコンやカメラといったIT関連が好きで、業務の中で自分の長所を生かしていける点は何より面白いと感じています。と畜場HACCPの現地検査をタブレット端末で出来るようなシステムの開発や、職員のと畜検査の様子を撮影し動画マニュアル作成するなど自分の強みを業務の中で生かすことができ、職員が利用しやすいように都度システムを開発できた時の喜びはひとしおです。





Q.四日市市を選んだ理由

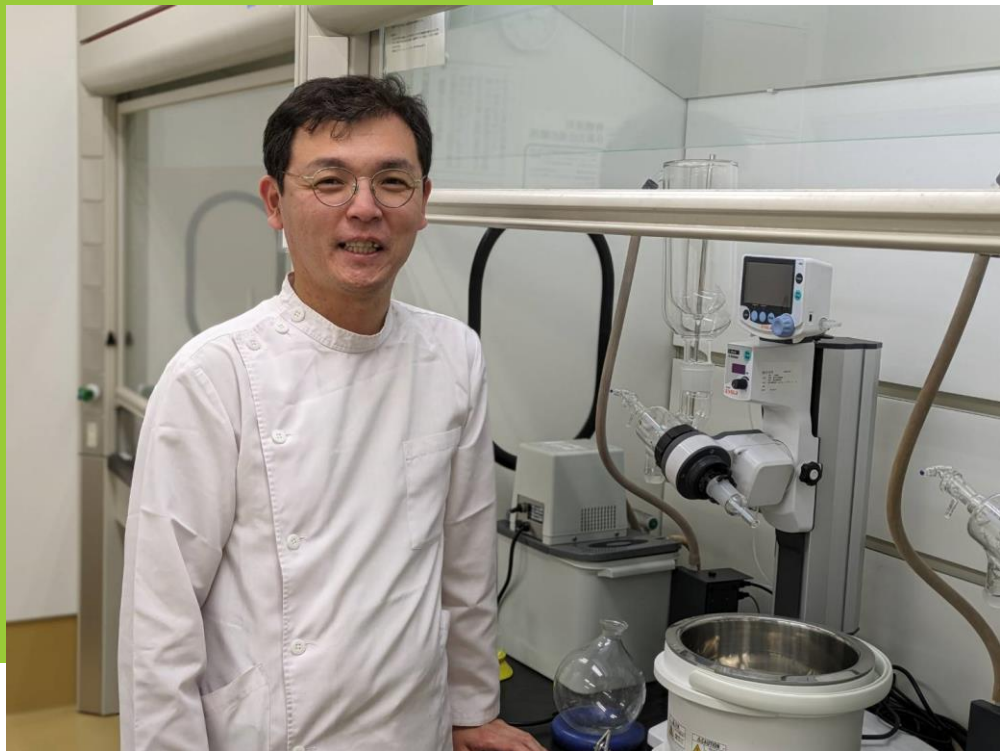
大学卒業後すぐに四日市市に入庁しました。卒業後は地元に戻ってきたいと考えていて、三重県職員も候補になっていましたが実家のある鈴鹿市により近い四日市市を選びました。家業の寺院活動を手伝う上で、やはり小動物臨床など他の業種よりも安定した休暇が取りやすく、終業時刻がはっきりしている点で公務員という職種を選びました。現在も土日や平日業務終了後はお檀家様の葬儀や法要も無事に行えています。

Q. 今後の目標

と畜検査におけるIT技術の活用・利用促進を進めていきたいです。まずはAIと画像認識を利用して肉眼病理診断の補助と出来るようなシステムの構築を目指しています。例えば豚の肝臓をタブレットで撮影し、リアルタイムで診断の候補を選出するようなシステムであり、これにより経験の少ない獣医師であっても、より正確な診断が可能となります。

Q.四日市市に向いている人とは

現在、四日市市は獣医師の職場は食肉・衛生検査所と衛生指導課の2ヶ所しかありません。職員それぞれが課題を発見し、自己研鑽できる獣医師が向いていると思います。自由度が高い職場で各々の特徴を持って仕事ができるということはこれほどありがたいことはないです。



Q. 求職者へのメッセージ

「置かれた場所で咲きなさい」と渡辺和子さんはおっしゃいましたが、これは辛い環境でも無理して努力するのではなく、今いる環境で出来るところまでやればいいよ、というメッセージでした。私自身は今の四日市市で自分のできることが目いっぱいできる環境だと思っています。もし今、置かれた場所が悪く「自分が満足できない花しか咲かせられない」と感じている方がいたら「置かれた場所」を変えるのも良いのではないのでしょうか。私たち人間は花と違って足があって自身で自由に動けるのですから。

安全な食肉を提供するという責任ある仕事

日々勉強し、多くの人の役に立ちたい

健康福祉部保健所

食肉・衛生検査所

獣医師 F

2年目（令和6年現在）



Q.現在の業務内容

私は入庁したばかりなので、と畜検査をメインに先輩方に教えてもらいながら業務を行っています。と畜検査がスムーズに終わった日は書類作成業務も行っています。はじめはいろいろと戸惑いましたが職場の雰囲気が良いので質問しやすく、早く環境に慣れることができました。

Q.仕事の面白い点

ローテーションで毎日違う検査を行うので飽きることなく仕事ができますし、様々な症例に出会い、その度に発見もあり、とても面白いです。また、と畜検査は適度に体を動かすので、体力や健康を維持しやすい仕事だと思います。





Q.四日市市を選んだ理由

四日市市は、適度に都会で適度に田舎な所で住みやすいと思います。飲食店や買い物をする所もたくさんあり、市街地から少し離れれば自然豊かな場所もたくさんあります。子育て世帯へのサポートも充実しており、とても生活しやすい所なので四日市市で働きたいと思いました。

Q. 今後の目標

と畜検査員は安全な食肉を提供するという責任ある仕事なので、日々勉強し、多くの人の役に立てるようになりたいと思っています。また、ワークライフバランスも大切にして、家族との時間や自分の趣味の時間を充実させていきたいです。

Q.四日市市に向いている人とは

と畜検査では、各検査員がチームとして協力しながら様々な仕事をします。周囲に気を配り、他の人と協力して仕事ができる人はとても向いていると思います。私自身は自信をもってこの仕事に向いているとは言えませんが、四日市市では親身になってくれる先輩職員が多いので、色々と助けてもらいながら日々仕事をしています。



Q. 求職者へのメッセージ

私は小動物臨床で何年か働いた後、四日市市に入庁しました。四日市市は仕事と家庭を十分に両立できる職場環境で、前職以上に充実した生活を送っています。休日には家族と釣りやキャンプなどのアウトドアを楽しんでおり、そのおかげで仕事に対する意欲もより高まっています。四日市市は新卒者、既卒者を問わず、ワークライフバランスが整ったとても働きやすい職場だと思います。興味をお持ちの方はぜひ見学にいらしてください。